

第 81 回 経営協議会議事要録

日 時：令和 3 年 3 月 19 日（金） 15：00～17：05

場 所：Microsoft Teams の「経営協議会」チーム（Web 会議）

出席者：櫻井学長、辻田理事（総務・財務・企画担当）、岩崎理事（教育担当）、本家理事（研究・評価・医療担当）、受田理事（地域・国際・広報・IR 担当）、宮井理事（ワークライフバランス担当）、執印医学部附属病院長
岩瀬委員、河合委員、川村委員、中澤委員、中島委員、野並委員、原委員

欠席者：岡村委員、山崎委員

陪席者：関監事、杉本監事、小山副理事（総務・財務担当）・事務局長、総務部長、研究国際部長、学務部長、医学部・病院事務部長

〔配付資料〕

- 資料 1 大学院総合人間自然科学研究科応用自然科学専攻（仮称）の設置計画概要（案）
- 資料 2 大学院総合人間自然科学研究科教職実践高度化専攻（仮称）の設置計画概要（案）
- 資料 3-1 人事院勧告に伴う給与関係規則の一部改正について（案）
- 3-2 人事院勧告に伴う給与関係規則 新旧対照表（案）
- 資料 4-1 テレワーク勤務に関する規則の制定等について（案）
- 4-2 高知大学におけるテレワーク勤務に関する規則（案）
- 4-3 関係規則 新旧対照表（案）
- 資料 5-1 国立大学法人高知大学特任職員就業規則の一部改正について（案）
- 5-2 国立大学法人高知大学特任職員就業規則 新旧対照表（案）
- 資料 6-1 特任研究員に係る選考基準の一部改正について（案）
- 6-2 関係規則 新旧対照表（案）
- 資料 7-1 国立大学法人高知大学教員のサバティカル研修に関する規則の一部改正について（案）
- 7-2 国立大学法人高知大学教員のサバティカル研修に関する規則 新旧対照表（案）
- 資料 8-1 岡豊事業場の勤務時間等に関する規則の一部改正について（案）
- 8-2 岡豊事業場の勤務時間等に関する規則 新旧対照表（案）
- 資料 9-1 高知大学勤務時間管理員及び勤務時間管理員補助者の指名に関する規則の一部改正について（案）
- 9-2 高知大学勤務時間管理員及び勤務時間管理員補助者の指名に関する規則 新旧対照表（案）
- 9-3 （参考）医療技術部の設置について
- 資料 10-1 管理職手当の一部改正について（案）
- 10-2 国立大学法人高知大学職員給与規則 新旧対照表（案）
- 資料 11-1 共同研究業績手当の新設について（案）
- 11-2 関係規則 新旧対照表（案）
- 11-3 （参考）高知大学における共同研究に係る「研究担当者の人件費」取扱要領
- 資料 12-1 令和 3 年度労使協定について（案）
- 12-2 超過勤務及び休日勤務に関する労使協定 新旧対照表（案）
- 12-3 1 年単位の変形労働時間制に関する労使協定（案）
- 12-4 年次有給休暇の計画的付与に関する労使協定 新旧対照表（案）
- 資料 13 令和 2 年度学内補正予算（第 1 次）の編成について

- 資料 14-1 令和3事業年度長期借入金の借入れの認可申請について
- 14-2 令和3事業年度長期借入金の償還計画の認可申請について
- 資料 15-1 令和3年度国立大学法人高知大学予算編成方針及び予算配分基準（案）
- 15-2 令和3年度予算編成にあたって（主な留意点）
- 15-3 令和3年度予算（案）
- 15-4 （参考）第4期中期目標期間の大学分収支の推移見込（令和3年度～令和9年度）
- 資料 16 令和3年度資金管理計画表（案）
- 資料 17-1 令和2年度財務状況報告書（第3四半期まで）
- 17-2 令和2年度資金管理実績（第3四半期）
- 資料 18-1 令和3年度国立大学法人高知大学年度計画（案）
- 18-2 （参考）令和3年度 年度計画（中期目標期間マスタースケジュール）

議事に先立ち、第80回経営協議会の議事要録（案）の確認が行われ、異議なく承認された。

【議題】

1. 大学院総合人間自然科学研究科応用自然科学専攻（仮称）の設置計画について
 辻田理事から、資料1に基づき、大学院総合人間自然科学研究科応用自然科学専攻（仮称）の設置計画について説明が行われ、審議の結果、承認された。
 なお、文部科学省及び大学設置・学校法人審議会からの意見等に基づく今後の加筆修正については、学長に一任することが了承された。
2. 大学院総合人間自然科学研究科教職実践高度化専攻（仮称）の設置計画について
 辻田理事から、資料2に基づき、大学院総合人間自然科学研究科教職実践高度化専攻（仮称）の設置計画について説明が行われ、審議の結果、承認された。
 また、同専攻の設置に伴う大学院総合人間自然科学研究科教育学専攻の学生募集停止についても承認された。
 なお、文部科学省及び大学設置・学校法人審議会からの意見等に基づく今後の加筆修正については、学長に一任することが了承された。
3. 人事院勧告に伴う給与関係規則の一部改正について
 辻田理事から、資料3-1、3-2に基づき、人事院勧告に伴う給与関係規則の一部改正について説明が行われ、審議の結果、承認された。
4. テレワーク勤務に関する規則の制定等について
 辻田理事から、資料4-1～4-3に基づき、テレワーク勤務に関する規則の制定等について説明が行われ、審議の結果、承認された。
5. 国立大学法人高知大学特任職員就業規則の一部改正について
 辻田理事から、資料5-1、5-2に基づき、国立大学法人高知大学特任職員就業規則の一部改正について説明が行われ、審議の結果、承認された。
6. 特任研究員に係る選考基準の一部改正について
 辻田理事から、資料6-1、6-2に基づき、特任研究員に係る選考基準の一部改正について説明が行われ、審議の結果、承認された。

7. 国立大学法人高知大学教員のサバティカル研修に関する規則の一部改正について
辻田理事から、資料 7-1、7-2 に基づき、国立大学法人高知大学教員のサバティカル研修に関する規則の一部改正について説明が行われ、審議の結果、承認された。
8. 岡豊事業場の勤務時間等に関する規則の一部改正について
辻田理事から、資料 8-1、8-2 に基づき、岡豊事業場の勤務時間等に関する規則の一部改正について説明が行われ、審議の結果、承認された。
9. 高知大学勤務時間管理員及び勤務時間管理員補助者の指名に関する規則の一部改正について
辻田理事から、資料 9-1～9-3 に基づき、高知大学勤務時間管理員及び勤務時間管理員補助者の指名に関する規則の一部改正について説明が行われ、審議の結果、承認された。
10. 管理職手当の一部改正について
辻田理事から、資料 10-1、10-2 に基づき、管理職手当の一部改正について説明が行われ、審議の結果、承認された。
11. 共同研究業績手当の新設について
辻田理事から、資料 11-1～11-3 に基づき、共同研究業績手当の新設について説明が行われ、審議の結果、承認された。
12. 令和 3 年度労使協定について
辻田理事から、資料 12-1～12-4 に基づき、令和 3 年度労使協定について説明が行われ、審議の結果、承認された。
13. 令和 2 年度学内補正予算（第 1 次）の編成について
小山事務局長から、資料 13 に基づき、令和 2 年度学内補正予算（第 1 次）の編成について説明が行われ、審議の結果、承認された。
14. 令和 3 事業年度長期借入金の借入れ及び償還計画の認可申請について
小山事務局長から、資料 14-1、14-2 に基づき、令和 3 事業年度長期借入金の借入れ及び償還計画の認可申請について説明が行われ、審議の結果、承認された。
15. 令和 3 年度予算編成方針及び予算配分基準について
小山事務局長から、資料 15-1～15-4 に基づき、令和 3 年度予算編成方針及び予算配分基準について説明が行われ、審議の結果、承認された。
また、執印医学部附属病院長より、附属病院における令和 3 年度の収入見通しについて、今後の新型コロナウイルス感染症の流行状況によって変動する可能性があることについて説明があった。
16. 令和 3 年度資金管理計画について
小山事務局長から、資料 16 に基づき、令和 3 年度資金管理計画について説明が行われ、審議の結果、承認された。
17. 令和 2 年度第 3 四半期までの財務状況及び資金管理実績について
小山事務局長から、資料 17-1、17-2 に基づき、令和 2 年度第 3 四半期までの財務状況及

び資金管理実績について報告が行われた。

また、小山事務局長より、令和3年度から資金管理実績の報告を年1回とすることについて説明があった。

18. 令和3年度年度計画（案）について

本家理事から、資料18-1、18-2に基づき、令和3年度年度計画（案）について説明が行われた後、各担当理事から担当に係る戦略性が高く、意欲的な目標・計画等について説明が行われ、審議の結果、承認された。

なお、加筆修正の必要が生じた場合は、学長に一任することです承された。

19. その他

- ・小山事務局長から、事務局課長の異動について紹介が行われた。
- ・櫻井学長から、次年度の経営協議会の開催予定について説明が行われた。

20. 大学運営に関する意見交換

櫻井学長から、配付資料に基づき、現在策定中の「Super Regional University (SRU) とは何か」及び「高知大学 Grand Design 2030」の概要について、また各理事から「高知大学 Grand Design 2030」における各担当分野について説明が行われた後、意見交換が行われた。

各委員からの主な意見は以下のとおり。

- ・「Super Regional University」の「Super」が何を指すのか、また、地域に貢献する事、国際化することについては言及されているが、地域と世界の間について語らなくてよいのかとの質問があった。これに対し、櫻井学長から、全国の大学の中でも群を抜く大学でありたいと意味で「Super」と冠していること、また、高知大学での取組を全国に発信し、それを世界に展開したいと考えており、その旨を記述したいとの回答があった。
- ・発展途上国の優秀な人材を留学生として積極的に受け入れ、キャンパス内の英語化を徹底し、教職員が英語で対応できるような環境を整備すれば、国内学生のレベルも上がると思うので一つの手法だと思う。
- ・バランスの取れたよいプランとなっていると思うが、学外向けの「SRU とは何か」についてはやや高知大学らしさが弱いので、もう少し高知大学らしい言葉を入れた方がよいと思う。
- ・日本の人口動態変化をみると、少子高齢化の進行により2040年は特に厳しい状態となることが明確となっている。「高知大学 Grand Design 2030」策定にあたっては、2040年までの前半の10年と位置付けて考えてはどうか。計画自体は意欲的なものとなっているが、何を実施するかは濃淡をつけるべき。高知は歴史的に海外に目を向けていた地域であり、今後も生き残っていくには海外とつながっていくことが必須である。東アジア圏も20年後には人口の減少が予測されており、世界の人口構成がダイナミックに変化していくことを考慮すると、目指すべきはインドやアフリカ地域で、その中で高知大学は何ができるかをこの10年で考える必要がある。
- ・新型コロナウイルスの収束後に向けて、高知県内の企業も将来を予測して真剣に学ぼうとする意欲が高くなっている。しかし、従来の大学院の形ではそのニーズを満たすことはできない。高知大学でDXができているかという点で残念ながら全くできておらず、日本の企業の多くでも失敗している。技術の変化が激しすぎて積み上げ型で学習するのでは間に合わない。現状を分析し、2030年に向けて必要とされる教育・研究とは何かをバックキャスト的に思考する必要がある。
- ・GIGAスクール構想は、端末を持つことが目的ではなく、子供たちが世界とつながるための最適な学習環境を提供するためのものであるが、高知県の教育現場はそれが全くできていない。

例えば、教育 DX で LMS（学習管理システム）の計画もあったが、高知大学が県内の小・中・高とつながる LMS を構築し、教育 DX の基盤となるシステムを整備することを考えてもよいのではないか。

- ・最近では、首都圏から学歴が高く経験も豊富な方が、グローバルな視点で明確なビジョンを持ち高知県の郡部に移住する例が増えており驚いている。海外から人を呼び込むとともに、海外に向けて成功事例を作るためのプログラムを構築してはどうか。また、東京も大事だが、これから発展する国々に注目するのも重要である。これらの国々では、栽培技術が未熟ななかでブランド化を目指している事例もあり、高知の持つノウハウを活かせばよい結果になると思う。
- ・「Super」な部分ではなく、「Regional University」としての現時点での取組もっと深く伺いたい。例えば、高知大学医学部では地域の医師会と連携し、医師派遣等の充実を図っている。また、教育に関して、行政と教育学部がどの程度連携して高知県の抱える課題に取り組んでいるかを深く知る機会があればよいと思う。
- ・リカレント教育については、今後、地域住民にとっても重要性はさらに高まる。これまでも地域のまちづくりや産業振興に高知大学から協力をいただいているが、2030 年に向けて、今後も大学の取組に期待したい。

以 上